

県連ニュース

2016年 10月号 NO-542



2014.09.14 撮影

「ジャンダルムと槍ヶ岳遠望」

藤田直生氏（比良雪稜会所属）提供

滋賀県勤労者山岳連盟

目 次

寄 稿	エッセイ	2
案 内	40周年記念 第54回登山祭典	3
報 告	第8回 理事会議事録	5
	アルパイン講習会 第4回実技	7
	第5回実技	9
追悼の言葉		11
ぐうたら理事長のつぶやき		13
予 定 表		14

「顔を合わせて話すことで」

彷徨倶楽部：高田 忠雄

12年余り続いている寄り合い飲み会がある。先週末、久しぶりに会った。仕事も年齢も違った5人で、明るいうちから一杯やりながら、話はあっちへ飛びこっちへ飛び、下ネタ、芸能ネタ、政治(家)滅多切り、参院選、東京知事選、アメリカ大統領選までも～硬軟取り混ぜいつも話が尽きることがない。酔いも深まった2軒目、最年長78歳元教師の吐息で座は転調する。「大台超えてガタツときた」と。今、あんまり出歩いていないとも。老いとは無縁と思えた人の嘆息、表情、12年という歳月の、それなりの長さを思う。当方も73歳、身の回りでは訃報葬祭が増え、起床時二日酔い状態を感じ～。馬齢を重ねれば後で「ああ、いいお酒やった」と翌日思い返して頬が緩むようなお酒しか飲みたくない。最年長元教師が言うた。「この会がほんと楽しみなんや。なんのしがらみもないから、好きにしゃべれるし」。気の合う仲間の存在は、年を取れば取るほど大事に思える。「そりゃな～もうちょっと会って話しよう、笑うため後悔しないために」と、みんな約束した。中身がなんであれ、話すことが人にはプラスに作用する。元教師が続ける～ 夫が若年性認知症のご夫婦が、大学の講義で話されるのを聴いた。旦那さんは言葉が出てこないので、しゃべるのは奥さん。「意思疎通はどうしてるんですか」学生の質問に、「言葉のやりとりで気持ちが通じる」と答えた。相手の話のとっかかりが、たとえ事実と違って、すぐ否定せんと「そりゃねえ～」と言葉をつなげることが大事なのだと。この前の参院選の報道で、選挙権を得た18歳、19歳の「何を基準に選んでいいのかわからなかった」という声が多かった。これも人と話すことで段々とわかっていくのだと思う。自分ひとりではわからないことが、人と話すことで気付き、深まり、整理される。「話」は、言偏に舌と書く。舌を動かすから「話す」。指先を動かすより、相手の顔を見て舌を動かそう～と。

3軒目の店行こか～と声を発したのは63歳の若輩だけで、私を含めみな余力なし。今日は無理せんと次にしよ！「ああ、いいお酒やった」—終。

第54回登山祭典(40周年記念行事) 実施案内

各会で秋の一日、登山の楽しみを皆が分かち合い、同好の士と語らい、54回目を迎えた登山祭典を盛り上げ、併せて登山人口の拡大につながれば幸いです。

実施日 2016年10月23日(日曜日) *雨天中止

1.場 所 八雲ヶ原集中 2.集合時間 午後12時(集会スタート12時半～)

3.その他 八雲ヶ原に向けての各会コースは下記の表の通り。

今回は他会へのコースの参加も認めます。その場合は該当の申込先へ連絡ください。

NO	担当山岳会	コース	集合場所・申込先等
A	滋賀山友会	イン谷口→大山口→金糞峠→八雲ヶ原→北比良峠→(ダケ道)→イン谷口 歩行時間・約5時間(一般向)	集合・イン谷口 8:32 参加費 300円 締切り 10/10 申込先・豊田永浩 <toyoda@eos.ocn.ne.jp> 申し込みはメールのみ
B	湖南岳友会	イン谷口→堂満岳→金糞峠→八雲ヶ原→北比良峠→イン谷口 歩行時間・約7時間(健脚向)	集合・比良駅 7:00 参加費 300円 定員・10名 締切り 定員になり次第 申込先・村田啓二 0748-62-9400(fax可)
C	比良雪稜会	小野駅・和邇駅=(貸切バス)=葛川細川→細川尾根→奈ヶ岳→コヤマノ岳ブナ林→八雲ヶ原→ダケ道→イン谷口=(貸切バス)=和邇駅・小野駅 ※野点を行います 歩行時間・約6時間(やや健脚向)	集合・小野駅 7:00 和邇駅 7:05 貸切バスに乘車 参加費 一般 3000円 中学生以下 2500円 定員・50名 締切り 定員になり次第 申込先・西村高行 077-594-0454(FAX可) kazuyo-buna@river.sannet.ne.jp
D	ちごゆり山歩会	イン谷口→(ダケ道)→北比良峠→八雲ヶ原 (往復) 歩行時間・約5時間(一般向)	集合・比良駅 8:10 参加費 300円 定員・10名 締切り 10/16 申込先・柴田英男 0771-23-0845(fax可)
E	彷徨倶楽部	ガリバー旅行村→八洲の滝→大摺鉢→八雲ヶ原→イブルキのコパー大摺鉢→旅行村 歩行時間・約5時間(健脚向)	集合・ガリバー旅行村 9:00 参加費 300円 定員 10名 締切り 10/10 申込先・長谷川伸次 075-954-2448(fax可)
	シャクナゲ	他会のコースに参加	

第54回登山祭典

創立40周年記念八雲ヶ原集中

第54回滋賀県スポーツ祭典協賛

2016年10月23日(日)

秋の一日みんなと交流してワンデイハイクを楽しみましょう！



2010年10月24日 八雲ヶ原にて

主催 滋賀県勤労者山岳連盟

☎520-0836 大津市杉浦町9-30
TEL. 080-4971-6231
eメール shigarosan@gmail.com
URL <http://shigarosan.jimdo.com/>

後援 新日本スポーツ連盟滋賀県連盟

-----キリトリ-----

第54回登山祭典参加申込書

2016年 月 日

氏名	年齢	性別	血液型	所属山岳会他				
		男・女						
住所 〒	TEL							
	E-mail							
希望コースに○印を ご記入ください	A	B	C	D	E			

2016年度第8回理事会報告

2016・9・7(水) 19:00~20:30 於; 県連事務所

出席; 北村昌、友永、中島、宮内、大月、高玉、堀部、佐藤、長谷川、西村、東郷池田、小林(記録)

欠席; 秋田、奥野(連絡あり)

★下記の議題につき報告・協議・検討・決定しました。

1. 比良全山縦走大会(協議+確認)

・日程: 9月25日(日) 県連ニュース9月号告知済み

コース; 栗原⇒権現山⇒蓬莱山⇒北比良峠⇒楊梅の滝入口東屋前

9月号県連ニュース案内で確認のこと(8月号案内時と一部変更のため)

参加費: 1000円(交通費含まず・和邇駅からのタクシー代も各自負担)参加は会員に限られるため新たな保険加入は無、タクシー手配(佐藤)

計画書: 参加は9月15日までに各会でまとめ、9月16日担当(佐藤)に連絡。

各会担当者: 山友会・宮内 比良雪・堀部 岳友会・北村 ちごゆり・友永(9月号案内に「パーティを組み参加」とあるが、コースを熟知していれば単独参加も可、ただし、各会を通じて参加申し込み)

集合場所: 和邇駅前7:10(駅前にて受付)。

中止の判断: 9月24日17時、滋賀県南部の予報で降水確率50%以上の場合中止

連絡方法: 実行委員長(長谷川)⇒各会連絡担当者⇒参加者(実施の場合は連絡なし)

当日役割担当 実行委員長・長谷川 会計・宮内 コース説明等・秋田

スーパー・長谷川 秋田 北村 中間・池田 中嶋

チェックポイント北比良峠・宮内 高玉 小林(果物・ジュース等接待)

ゴール地点・西村 友永 大月 奥野(完歩証・ビール他)

流れ: 和邇駅集合(受付で名札を渡す・コース説明と諸注意)⇒タクシーで登山口移動

全員で準備体操⇒一斉スタート⇒打見山頂上通過時に各リーダーは県連連絡先(友永・080-4971-6231)に通過を報告⇒北比良峠通過⇒ゴールを目指す

準備と持ち物: 地図(説明時使用のものはすでに準備)・受付で配布の名札(友永)完歩証(西村)携帯(各自)・県連腕章(各自)北比良接待(宮内・高玉・小林)

ゴール地点接待(大月・西村) *無線機は持ち物から外す他・参加者名簿はメーリングリストにて事前に送信(佐藤)

・登山時報より依頼の原稿は友永理事長

2. 登山祭典(40周年記念行事)(協議)

場所: 八雲が原集中(集合時間は12時30分より前)

担当: 組織部(池田・東郷)友永

各会コース: チラシ参照(9月20日に県連ニュースと一緒に発送予定)

一般参加者の傷害保険加入(労山短期保険)のため、氏名・生年月日(または年齢)を担当者(友永)に10月21日までに連絡をする)保険料100円/1人
中止の判断: 各会に委ねる・中止の場合や理事長にメール連絡する。

集会: 1~1.5時間(挨拶・スキー場跡地の原状回復等・各会の紹介等)

案内: 全国連盟・近畿ブロック・友好団体(熊森・新日本スポーツ連盟・綾野山歩会 岳連等) 他: 所属会に限らず相互参加自由*当日の準備についてなど、詳細は次回理事会で確認

3. 道迷い遭難事故防止講演会(40周年記念行事)(協議)

日程：11/19（土）18時～21時 会場：ピアザ淡海 207号会議室
 担当：遭対部（佐藤・西村） 協力 救助隊・教育部
 講師：羽根田治《遭難関係の著書多数》 規模：100名程度
 参加費：会員500円 一般1000円 他府県労山会員も一般と同様1000円
 チラシ：近日中に作成（佐藤）

*羽根田氏より「長野県を通じて講演依頼をすれば講演料が15000円になる」との提案あり、条件として講演内容で使われる事例の半分が長野県下で発生のものとなるとのこと、条件下で内容を『道迷い』に絞って講演を依頼する。案内原稿は県連ニュース11月号で再度掲載予定。

4. 各部報告

組織部：前月末の会員数（2016・9E／2016.8E）

山友会	85/86	岳友会	46/46	雪稜会	53/54	彷徨	21/21
ちごゆり	18/18	シャクナゲ	5/5	合計	228/230	(99.1%)	

※前年度末比 228/232 98.3%

登山祭典チラシ

山友会 200・岳友会 200・雪稜会 200・彷徨 50・ちごゆり 50・シャクナゲ 50
 県連 100 他・

2017年労山カレンダー申し込み 定価800円 申込期限9/28（友永まで）

前年度申込数41

教育部：8/4（木）第3回座学 8/28（日）第4回実技金毘羅山

9/6（水）第4回座学 9/11（日）第5回実技実施予定

自然保護部：10/1（土）近プロ自然保護会議

財政・遭対部・SKI-NET 特になし

CSS：8月中止の例会を9月に実施予定

機関誌部：10月号の原稿締切9/15 印刷・発送 9/20

救助隊：9/8近プロ第二回搬出打ち合わせには出席できず、再度調整か？

5 その他

*熊本大震災募金 比良雪稜会 28235円送金済み

*日本山岳遺産基金8/29申請済み（10万円を清掃登山補助として要請）

*40周年意見交換会8/9開催。事務所にて19時から

出席者 県連（友永・北村） 山友会（豊田） 雪稜会（西村）

案 県連の歩み作成（とくに20年～現在）・祝賀会の開催

記念行事ファイナルとして、来年度の登山祭典を泊りの交流会に等

*彷徨倶楽部より40周年記念事業として提案のあった、携帯トイレ等の普及による自然保護活動に関しては、次回以降の検討課題とする。

*全国登山集会11/5～6国立オリンピックセンター

*第20回全国ハイキング交流会11/5～6国立オリンピック青少年センター

*第18回全国自然保護集会11/12～13 つくば市筑波ふれあいの里

いずれの活動においても参加の場合補助あり（補助金額は未定）

*10月2日 兵庫労山50周年記念式典・友永参加

*第24回近プロ雪崩講習会、県連ニュース10月号にチラシ同封

次回 第9回理事会 10月5日（水）19時～

アルパイン講習会（第4回実技講習）

実施日：2016年8月21日（日）晴れ

開催地：京都北山 金毘羅山 北尾根～北壁、Y懸の頭

講習時間：9：30～15：15

参加者：講師・スタッフ：長谷川、小関、乾、濱野、平山

受講生：田中啓、其阿弥（記録）

講習の目的：マルチピッチのフォロークライミングと懸垂下降の訓練

講習内容：いずれもザックを背負って実施

（1班 長谷川、其阿弥 2班 乾、平山 3班 小関、濱野、田中）

- ① 北尾根～北壁までフォロークライミング
- ② Y懸の頭に登坂、懸垂下降のセット及び下降の訓練

【講師・スタッフのアドバイス】

（小関） 講習会も残り少なくなってきました。

マルチシステムの習得と登攀力強化の時期になって来ました。

講習会以外に練習する機会をできるだけ作ってトレーニングされるといいですね。

（乾） クライミングの動作には、一つ一つに意味がある。その意味を理解して、反射で動けるように、身体で覚える。その両方が必要と思いました。努力したいと思います。

（濱野） 座学で、教わったマルチピッチの手順も実技講習を重ねるごとに理解できてきたのではないかと思います。

登ることも、つぎはもっとうまくなっています。頑張りましょう

【受講生感想】

（田中） 蒸し暑い中、金毘羅実技講習3回目、今回も熱心にご指導していただき有難うございました。

前回より少しだけですが、自己ビレイの仕方・登攀の準備・ビレイの方法など理解できたように思いましたが、懸垂下降のシステムが座学で教わっていたのに解っていませんでした。また、登攀時も基本的な立込みがスムーズにいかず時間がかかってしまいました。教えていただいた事を正確に出来るようにしたいです。

(其阿弥) 暑い中講習をありがとうございました。

まだまだエイトノットの結び目が甘いようでした。またフォローのシステムがしっかりと身につけていず、コールと手順が前後してしまったりとスムーズにできませんでした。

懸垂下降のシステムの構築がぜんぜん理解していませんでした。座学をしっかり予習して次回に臨みたいと思います。受講生ということで、つつい受け身になってしまっていますが、もちろん講師のチェックを受けるのも重要ですが、自分自身でも再確認、納得して行動に移るよう心掛けたいです。



アルパイン講習会（第5回実技講習）

実施日：2016年9月11日（日）曇り時々晴れ

開催地：京都北山 金毘羅山 北尾根～北壁、Y懸の頭

講習時間：9：30～15：30

参加者：講師・スタッフ：長谷川、乾、濱野、中西

受講生：其阿弥、田中（記録）

講習の目的：マルチピッチのフォロークライミングと懸垂下降の訓練

講習内容：いずれもザックを背負って実施

（1班 濱野、乾、其阿弥 2班 長谷川、中西、田中）

- ① 北尾根～北壁までフォロークライミング
- ② Y懸の頭に登攀、懸垂下降のセット及び下降の訓練
- ③ 搬出訓練

【講師・スタッフのアドバイス】

（長谷川）受講生の皆様、金毘羅山で5回の実技、お疲れ様でした。当初に比べて、今回は大分スムーズに登攀及びロープワークをされてました。

今回、万一の為、登攀終了後に「足を負傷して自力で歩けなくなった仲間が出た。」事態を想定し、仲間5人が交替して背負い、ロープでバックアップしながら急斜面を下るという救助訓練を少しだけ実施しました。そこでは、体力が無いと急斜面での救助活動は困難を極める事を実感されたと思います。

（乾）前回より登攀がスピーディーになったと思いました。

終了山行を目指して頑張りましょう。

（濱野）北尾根から北壁のルートは、以前までに比べ短時間で登れました。

受講生お二人の上達の結果だと思います。

次回は、終了山行です。頑張りましょう。

（中西）先日は久しぶりのリードで少し緊張しました。

受講生のお二人とも以前と比べると岩登りがスムーズになったように思われます。欲を言えば、ピレイポイント到着時になすべきことが戸惑っているようなのでそこが課題かな？ 終了検定までもう少し、頑張りましょう！

【受講生感想】

(其阿弥) 今回も暑い中、実習をしていただき、ありがとうございました。

手順もだいぶ頭の中で整理出来てきたように思ってましたが、前後になってしまったり、自分でしたこと自信が持てず、次になかなか行けなかったりとスピーディーには動けませんでした。搬出訓練は、とても勉強になりました。

(田中) 終了山行前、最後の金毘羅実技講習会が雨で中止にならず訓練できて良かったです。ご指導有難うございました。

マルチピッチの手順、少しずつ分かってきたように思いますがスピーディーにスムーズに動けませんでした。無駄な動きをなくし確実に出来る様に、心掛けたいです。救助訓練は体験できて勉強になりました。



藤田直生さんを悼む

滋賀県勤労者山岳連盟
会長 秋田 誠

2015年6月から、毎月県連ニュースの表紙を美しい写真で飾ってくださった、比良雪稜会々員の藤田直生（ただお）さんが、9月6日にご病気のため急逝されました。7月初旬に定期検査で異常が見いだされ、同月下旬に滋賀医科大学付属病院に入院され治療を続けておられたそうですが、薬石効なくご家族に見守られ帰らぬ人となられたとのこと。藤田直生さんの安らかなご冥福をお祈りすると共に、残されたご家族に心からお悔やみを申し上げます。

親しい比良雪稜会々員からのメールで、藤田さんが入院されていること、病状がとても重篤であることを知ったのは、9月2日の夜も遅い時間でした。藤田さんとは、5月下旬に私が所属する彷徨倶楽部のミーティングで一緒して、親しくおしゃべりしたばかりでした。藤田さんのミーティング出席は久しぶりで、律儀な彼は、5月いっぱい彷徨倶楽部を辞める旨をわざわざ伝えに来てくれたのでした。7月の連休には、比良雪稜会のメンバーを連れて劔岳を登ると楽しそうに話してくれました。

「病気」、「入院」、「食事が摂れない」、「起き上がることも困難」。メールの文面から信じられないフレーズが目飛び込んで来ました。文章が告げる事実の重大性が頭の中で俄かに意味を成しませんでした。ご本人のたっぴの希望で、病気入院のことは仕事関係と比良雪稜会の一部の人のみが知るところだったようです。周囲の人に心配をかけたくない。実に彼らしい気配りでした。

翌日、取るものもとりあえず、メールをくれた会員と病院を訪ねました。奥様と電話でお話ししたところ、病状は非常に重篤でご家族すら面会を制限されているとのこと。思いもよらぬ緊迫した状況を知った私たちは、お見舞いが叶わないのなら、せめて励ましのメッセージで彼を力づけようと考えました。藤田さんと親しい人たちに呼びかけてメッセージを集め、その日の夜、藤田さんのご自宅のポストに投函しました。殆ど意識のない彼の枕元でメッセージを読んで頂いたと奥様からわざわざお電話を頂きました。

メッセージを奥様に託した時点で、私たちは病を克服し元気になった彼と再び言葉を交わすチャンスがあるものと信じていました。第2弾、第3弾のメッセージを考えていました。しかし願いは空しく、病院を訪ねて3日目、最悪の結末がもたらされたのです。

福井嶺南うつろ谷、劔岳北方稜線、上松尾根～木曾駒ヶ岳（積雪期）、堂満岳

中央稜（積雪期）、八峰六峰Cフェース、大山北壁弥山西稜（積雪期）、一ノ倉沢一ノ沢（積雪期）、雪彦山地蔵東稜、横岳西壁裏同心沢（積雪期）、西穂高沢～西穂高岳（積雪期）。順不同ですが、藤田さんと共にした山行が思い出されず。藤田さんとは、クライミング研究会滋賀（CSS）と彷徨倶楽部の活動を通じて度々ロープを結びました。どれをとっても記憶に残る愉快的な山行でした。ありがとう、藤田さん。

まだまだ貴方と攀りたいルート、登りたい山がありました。貴方をおいて誰と積雪期の黒部川横断や黒部の衆の話をしろというのだろうか？和田城志について、劔沢幻視行についてももっと語り合いたかった。どんな辛いビバークの夜も貴方と山を語り合うならきっと耐えることが出来るだろう。

藤田直生さん、私は貴方が思い出の国の住人になってしまった非情な現実を未だに受け入れることが出来ません。合掌。



赤岳鉱泉へ向かう藤田さん（2014年12月）

ぐうたら理事長のつぶやき

先日、比良雪稜会の藤田直生さんをご病気で亡くになりました。登山時報9月号で明神岳の記事を読んだばかりだったので本当に驚きました。滋賀県連でも数少ないアルパインの実践をしておられた方だっただけに残念でなりません。ご冥福をお祈りします。

また、山友会で持っていた木の枝が折れて落ち怪我をするという事故が起きました。ほんの少しの油断や大丈夫だという思い込みが事故を招きます。木の枝は折れるかもしれないと思って確かめ、出来るだけ根元を持つように心掛ける事が必要です。前にも書きましたが事故は思わぬ所で思わぬ時に起きます。くれぐれも慎重な行動をお願いします。

暑かった夏も終わり吹く風も心なしか涼しく感じるようになりました。山を歩くには良い季節が巡って来ました。山友会の50周年記念山行の一つとして「呉枯の峰」を登って着ました。木の本駅から商店街を抜け登山口まで歩き山道に入りました。枯れ落葉の積もった膝に優しい登りでした。汗ばむ体に吹き抜ける風も涼しく感じられました。まずまずのペース(私にしては)で登り続け三角点で休憩しました。ここでも風が心地良く吹き抜けました。緩い登り下りが続き思ったより早く呉枯の峰の山頂に着きました。滋賀県でも数少ない一等三角点のある山です。木が茂って展望はありません。食事をすませ出発し、尾根伝いに進み田上山分岐を過ぎ良く整備された道に行く。立派な表示板のある菅山寺分岐に着き菅山寺へ下る。思ったより急な下りだった。これを登り返すのかと少し心配になる。木の葉越しに屋根が見えて菅山寺本堂に着く。さすがに菅原道真の時代から続く寺で古びた雰囲気は漂っていた。登り返す途中で若者が下って来た。ウディパルから車で来たようだ。表示板より坂口に入る。これも立派に整備されて歩き易い道だった。だが下りが続くと膝に堪える。何とか下り続け坂口のバス停に着く。

久し振りに、ある程度余裕の持てた山行だった。もっとも同行したメンバーには物足りなかったかも知れない。

少し涼しくなって何とか山が歩けるようになりました。10月はハイキングセミナー(出来ないかもしれませんが)でやる予定の地図読みの講習内容を確認したいと思います。

参加していただける方は10月15日(土)8時に膳所駅に集合して下さい。膳所駅→びわ湖放送横→音羽山→観音越→平尾→膳所のコースを歩きながら地図読みと簡単な磁石の使い方やりたいと思います。

参加される方は友永までメール(yt19481013@yahoo.co.jp)か電話(077-524-5618)でお知らせ下さい。締切りは10月12日(水)にします。

「編集後記」

先日、親しい岳友と辛く悲しいお別れをしました。名前そのままに真直ぐ生きられた方でした。まだまだ心の整理ができずにそれぞれの立場で君を悼んでいます。どうか安らかに眠り下さい。 合掌

行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
10	1-2	アルパイン講習会(修了山行)	10	1	細川尾根～武奈ヶ岳	雪稜
				2	ふれあいハイク(庚申山)	山友
	5	第9回理事会		2	10月例会(鎧岳・兜岳)	岳友
				2	高野三山	ちご
				8-10	両白・経ヶ岳～法恩寺山	山友
				8-10	木曾駒ヶ岳～空木岳	岳友
	12	アルパイン講習会(修了式)		15-16	鳥取・大山	山友
	15-16	アルパイン講習会(終了山行・予備)		15-16	野坂岳～三国山	彷徨
				20	ミーティング	彷徨
	23	登山祭典		23	登山祭典(金萁峠～八雲ヶ原)	山友
		23	登山祭典(堂満岳～八雲が原)	岳友		
		23	登山祭典(細川尾根～武奈ヶ岳)	雪稜		
		23	登山祭典(八淵の滝～八雲が原)	彷徨		
		23	登山祭典(ダケ道～八雲ヶ原)	ちご		
		29	ミーティング	岳友		
		29,30	鈴鹿錦秋山行	山友		
		29-30	扇の山 弥山	彷徨		
		30	朽木・大谷	山友		
		30	貝月山(岐阜)	雪稜		
11	2	第10回理事会	11	3	岐阜・三周ヶ岳	山友
				3	比良飲み水調査・放射線測定	雪稜
				3	金剛山(ダイトレ)	彷徨
				6	高室山(清掃登山)	岳友
				6	自然保護部例会、湖北・大黒山	山友
				6	三十三間山・轆轤山	雪稜
				10	京都・大文字山	山友
				12-13	比良・縦走、テント泊	山友
				13	湖北・行市山	山友
				13	日本コバ	雪稜
				13~14	野坂山&30周年祝賀会	ちご
				17	ミーティング	彷徨
				19	比良・ホッケ山～蓬萊山	山友
				20	俱留尊山	岳友
				20	地獄谷～荒地山	雪稜
				23-27	祖母山 国見岳	彷徨
		26	比叡山・本坂～雲母坂	雪稜		
		26	ミーティング	岳友		
		27	山の辺の道	ちご		
				3	比良・大津ワングル道	山友
				4	比良シリーズ山行	山友
				4	例会山行(おまかせ)	岳友
				4	救護・搬出訓練(場所;未定)	雪稜
				4	十二坊	ちご
				10-11	由良ヶ岳・大江山	雪稜
				15	ミーティング	彷徨
				16-19	香港の山	彷徨
				17	忘年山行(魚の子山～宮メズラ)	雪稜
				17	忘年会	雪稜
				17	忘年山行・希望ヶ丘周辺	岳友
				17~18	忘年会(希望ヶ丘ロッジ)	岳友
				17~18	総会・忘年会(希望ヶ丘)	ちご
		29-1/3		妙高ゲレンデスキー(スキーネット)		

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット;山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀

滋賀県勤労者山岳連盟は まもなく
40周年を迎えます



原稿の投稿先 (11月号は 2016年10月15日〆切)
メールアドレス yutaka_o@hotmail.com まで

原稿は **B5** サイズ、フォント **10~10.5** でお願いします。

「県連ニュース」№542

発行日 2016年9月20日

滋賀県勤労者山岳連盟
〒520-0836
大津市杉浦町9-30

Tel 080-4971-6231
Eメール shigarosan@gmail.com

http://outdoor.geocities.jp/ami_de_montagne/

ゆうちょ銀行(店名418)普通0239956

発行責任者 友永芳和

編集委員 奥野 豊

小林智子

高玉敬子